



報道発表資料の配付日時 3月24日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和5年 春のヒグマ注意特別期間について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p><b>【ポイント】</b>          本年も、山菜採りやハイキングなどで山野に出かける機会が多くなり、また、冬眠明けのヒグマの活動が徐々に活発になるこの季節を迎えるに当たり、「春のヒグマ注意特別期間」を設定して、道民等に注意喚起を行います。</p> <p style="text-align: center;">■■■■■「令和5年 春のヒグマ注意特別期間」■■■■■          令和5年(2023年)4月1日(土)から5月31日(水)まで(61日間)</p> <p>道では、ヒグマによる人身被害を防止するため、過去に被害が特に多く発生している春と秋に、北海道ヒグマ注意報等発出実施要領に基づき「ヒグマ注意特別期間」を設定し、道民等への注意喚起に努めているところです。</p> <p>ヒグマによる人身被害を防ぐためには、ヒグマに出遭わないための基本的なルールを守ることが重要です。          注意特別期間の取組として、リーフレットの配布やポスターの掲示、ホームページ、SNSなど各種広報媒体の活用による注意喚起活動等の取組を強化します。</p> <p>〈ヒグマに出遭わないための基本的なルール〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 野山に入る前には、市町村などのヒグマ出没情報を確認する</li> <li>○ 単独行動は避け、複数で行動する</li> <li>○ 鈴や笛など音の出るものを鳴らす</li> <li>○ ヒグマのフンや足跡を見たら、すぐに引き返す など</li> </ul> <p>(URL:<a href="https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/kihon.html">https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/higuma/kihon.html</a>)</p> <p><b>【添付資料】</b>          北海道ヒグマ注意報等の概要          ヒグマによる人身被害の発生状況          注意喚起ポスター(A4)</p>		
参考			
報道(取材)に当たってのお願い	今年雪解けが例年に比べ早いことから、ヒグマの活動開始も早いことが予想されます。ヒグマによる人身被害発生防止のため、基本的なルールを守ることを含め、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付		
	同時レク		
担当(連絡先)	環境生活部自然環境局野生動物対策課ヒグマ対策室(担当者:主幹 <sup>ただよし</sup> 武田 <sup>ただよし</sup> 忠義) TEL <sup>ただよし</sup> ダイヤルイン 011-204-5988 内線 24-382		

# 北海道ヒグマ注意報等の概要

## ■ 目的

道内において、ヒグマの市街地出没や人身被害等が発生した際に、道民や来道者に対して、ヒグマによる人身被害防止などのため、注意報等を発出するもの。

※北海道ヒグマ管理計画 第2章の3(1)①ア(エ)

## ■ ヒグマ注意報等

- ・ ヒグマ警報（警報）
- ・ ヒグマ注意報（注意報）
- ・ ヒグマ注意喚起（注意喚起）

## ■ 注意報等の発出

### < 警報 >

本庁と振興局で同時発出。  
振興局は、関係する市町村に、事前に発出情報を提供。

### < 注意報 >

本庁と振興局で同時発出。  
なお、発出に当たっては、市町村等の意向を踏まえるものとする。

### < 注意喚起 >

本庁は、必要に応じて道民や来道者へ注意を呼びかける。  
振興局は、地域の実情に応じて地域の住民へ注意を呼びかける。

◎ 警報と注意報は、住民等に人身被害発生の懸念があるときに発出

◎ 注意喚起は、ただちに人身被害の発生は懸念されないが、注意を促す際に発出

## < 注意報等の発出イメージ >

今回の発出ケース	市街地付近 (住民などが利用する生活圏)	市街地付近 以外 (ヒグマの生息圏)
人身被害発生	警報	注意報
出没が頻発	注意報	必要に応じて 注意喚起
農業等被害発生	注意報	
その他	必要に応じて注意喚起	

## < 発出基準等 >

注意報等	発出基準	対象区域	期間等
警報	市街地付近で、ヒグマによる人身被害が発生したとき。	ヒグマが出没している若しくは被害が発生している市町村又はその区域。 ※ 地理的状況や被害状況を考慮し、隣接市町村を必要に応じて対象に加えることができる。	一ヶ月間を目安 ※ 必要に応じ延長
注意報	市街地付近で、ヒグマが頻繁に出没、又は、ヒグマによる農業等被害が発生し、一般住民への人身被害の発生が懸念される とき。 市街地付近以外で、ヒグマによる人身被害が発生したとき。		
注意喚起	広く一般に又は地域の実情を踏まえて注意を促すとき。	必要に応じ設定可	必要に応じ設定可

注意報等を発出した時は、「ヒグマ出没時の対応方針」、「ヒグマ人身事故発生時の対応方針」に基づき、必要な対応を行う。

※ 市街地付近とは、市街地等（市街地、集落、人家稠密地域及びその周辺部）、通学路、不特定多数の人が利用する公園、観光施設等の区域並びにその周辺部をいう。

## 【参考資料】

### 1 「令和5年春のヒグマ注意特別期間」について

期間：令和5年4月1日（土）～5月31日（水）の61日間

#### (1) 概要

ヒグマによる人身被害の未然防止を図るため、平成14年度から、道民等が山菜採りやキノコ採りなどのため、ヒグマの生息する野山に入る機会の多くなる春と秋に「ヒグマ注意特別期間」を設定し、普及啓発事業を実施。

#### (2) 取組

「野山でヒグマに遭わないための基本的ルール」の普及啓発を図るための取組を実施

##### <基本的なルール>

- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 単独行動を避け、複数で行動する
- 鈴など音の出るものを鳴らす
- クマの足跡やフンを見つけたら、すぐに引き返す

##### <取組>

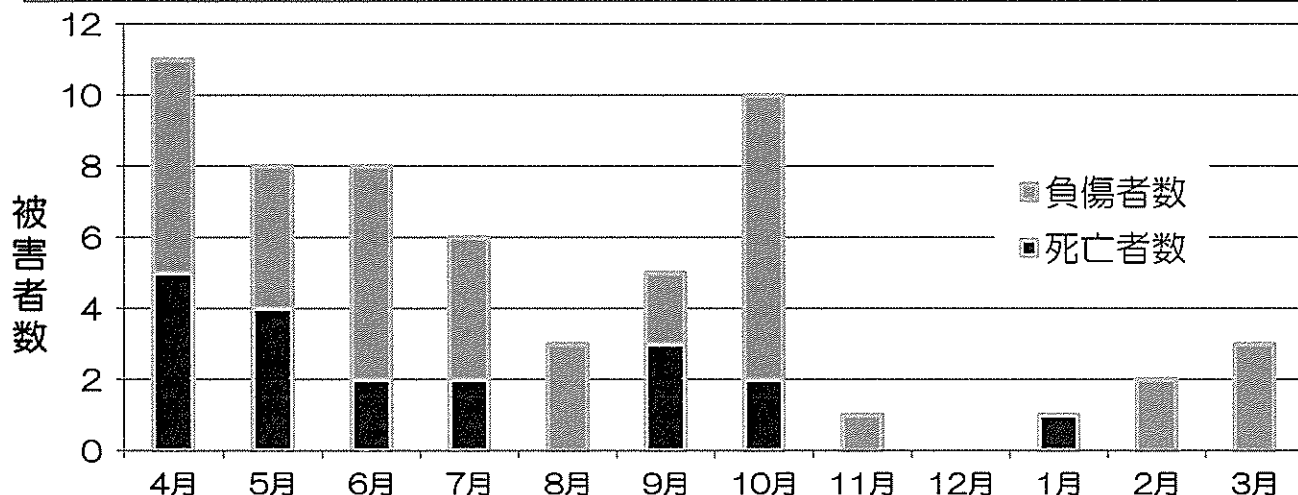
- 総合振興局・振興局職員による巡視活動
- 普及啓発リーフレットの配布
- 道のホームページで市町村のヒグマ出没情報サイトへのリンク集を掲載 など

### 2 ヒグマによる人身被害について(狩猟や駆除の際の事故を除く)

#### (1) 月別被害者数（H1～R5年1月末現在の合計）

ヒグマによる人身被害は、特に春と秋に多く発生しています。これは、春は山菜採り、秋はキノコ採りなど、人間が山野に出かける機会が多い季節であることに加え、ヒグマも春は冬眠明けのために、秋は冬眠を控えてともに餌を求めてより活発に活動するため、人間とヒグマが遭遇する確率が高まることが原因と考えられています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
死亡者数	5	4	2	2	0	3	2	0	0	1	0	0	19
負傷者数	6	4	6	4	3	2	8	1	0	0	2	3	39
合計	11	8	8	6	3	5	10	1	0	1	2	3	58

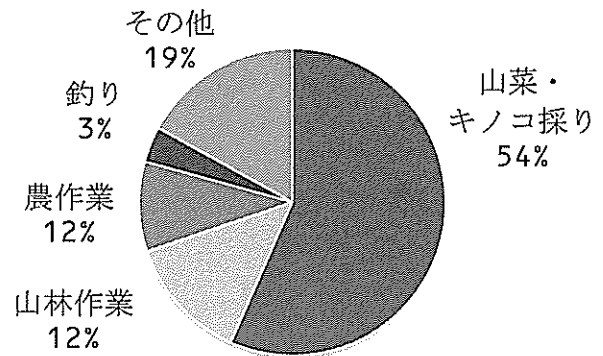


(2) 人身被害発生時の被害者の活動 (H1～R5年1月末現在の合計)

ヒグマによる人身被害発生時の被害者の活動をみると、山菜採り及びキノコ採りが半数を超え最も多く、山菜採りやキノコ採りは特に被害に遭いやすい野外活動といえます。

なお、人身被害で最も多いのは、ヒグマの捕獲に従事しているときに逆襲されるなどで狩猟者が被害に遭うものですが、特殊な事例のためそれらについては除外しています。

被害者の活動	被害者数	内 訳	
		死亡	負傷
山菜・キノコ採り	31	13	18
山林作業	7	1	6
農作業	7	2	5
釣り	2	2	0
その他	11	1	10
合計	58	19	39

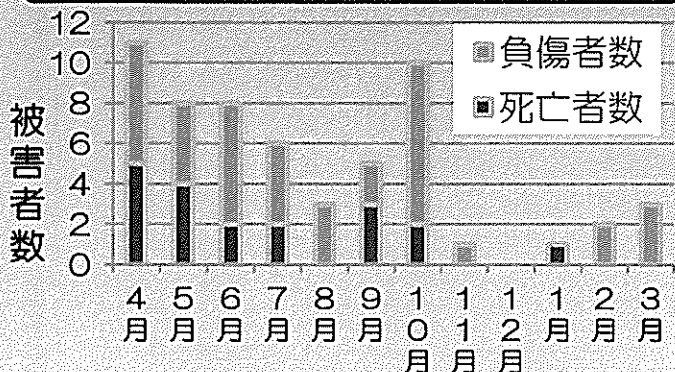


〔過去10年間 (H23～) の春 (4～5月) に発生した事故の概要 (狩猟や駆除の際の事故を除く) 〕

年度	発生日	被害者の活動	発生地	被害者	死傷
H25	4月16日	山菜採り	檜山管内せたな町	52歳女性	死亡
	4月29日	山菜採り	日高管内新ひだか町	53歳男性	負傷
H26	4月4日	山菜採り	檜山管内せたな町	45歳女性	負傷
H29	4月16日	山菜採り	釧路管内標茶町	54歳男性	負傷
H30	4月20日	山菜採り	渡島管内函館市	66歳男性	負傷
	4月29日	山菜採り	根室管内中標津町	70歳男性	負傷
R2	5月8日	山菜採り	オホーツク管内滝上町	62歳男性	負傷
	5月15日	山菜採り	後志管内古平町	71歳男性	死亡
R3	4月10日	山菜採り	釧路管内厚岸町	60歳男性	死亡

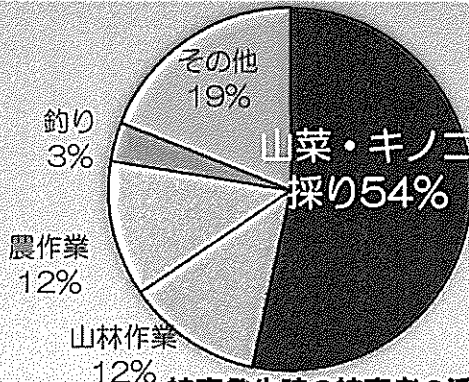
# 春はヒグマに注意

人身被害は春と秋に多く発生



発生月別のヒグマによる人身被害者数  
(平成元年度～令和5年1月末 狩猟者が被害者の事例を除く)

被害の2/3は山菜・キノコ採りで発生



被害発生時の被害者の活動  
(平成元年度～令和5年1月末 狩猟者が被害者の事例を除く)



## 春のヒグマ注意特別期間

令和5年 4月1日(土)～5月31日(水)

あなたが被害者にならない一番の方法は  
ヒグマに遭わないことです

食べ物やゴミは必ず持ち帰る

一人では野山に入らない

野山では音を出しながら歩く

事前にヒグマの出没情報を確認する

薄暗いときには行動しない

ワンや足跡を見たら引き返す

※ 人里周辺などでヒグマを目撃したときは、市町村役場または警察にご連絡ください。



北海道環境生活部